

子ども・多世代エール寄附金助成

2023年度 実施報告書

社会福祉法人立川市社会福祉協議会

子ども・多世代エール寄附金について

新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大し始めた 2020 年 3 月以降、活動自体の縮小・あるいは休止を余儀なくされるグループが増加し、ボランティア・市民活動や、サロン、自治会活動などを通じた「人と人とのふれあい」の機能が徐々に低下していくことが懸念されました。

そうした中で、2020 年度と 2021 年度の 2 年間で、「新型コロナウイルス対策地域支援寄付金助成」を実施しました。2022 年度は、子ども・若者等を中心とした次世代を応援する活動、生活困窮者等への支援活動、地域福祉アンテナショップの設置や運営に対しての助成を目的に、「地域支えあい寄付金助成」と名称を変更、2023 年度に「子ども・多世代エール寄附金助成」と名称を変更しました。

2023 年 5 月 1 日より寄附を募り、個人や企業・団体より延べ 100 万円を超えるご寄附をいただきました。いただいた寄附金を活用した取り組みについてご報告いたします。



目次

■ 子ども・多世代エール寄附金について…………… P1

■ 目次…………… P2～P3

■ 助成金活用により実施した取り組み

○こぶし誰でも食堂……………P4

○カフェ ユルク……………P4

○錦町子どもの居場所懇談会にしキッズ～ハートホーム～……………P5

○WestWave 立川……………P5

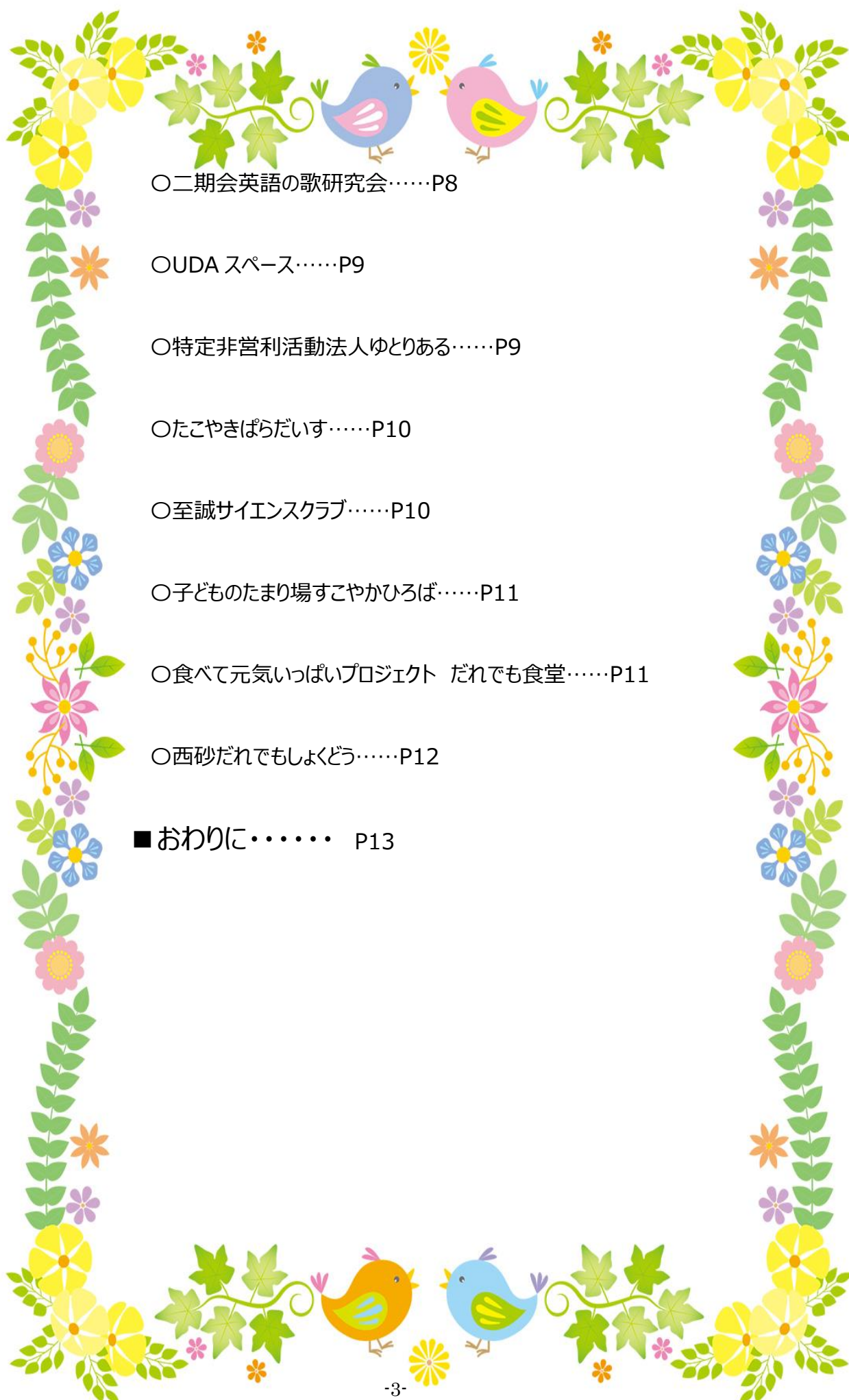
○国際教育文化交流ビエンビード会……………P6

○キラリっ子ファミリーカフェ……………P6

○いちばん子ども食堂実行委員会……………P7

○砂川平和ひろばふらっと実行委員会……………P7

○こんなスペース"あったか～い♪"……………P8



○二期会英語の歌研究会……P8

○UDA スペース……P9

○特定非営利活動法人ゆとりある……P9

○たこやきぱらだいす……P10

○至誠サイエンスクラブ……P10

○子どものたまり場すこやかひろば……P11

○食べて元気いっぱいプロジェクト だれでも食堂……P11

○西砂だれでもしよくどう……P12

■おわりに……… P13

助成金活用により実施した取り組み

食を通じて、多世代が
交流できる場を
つくりたい

こぶし誰でも食堂

【活動内容】

子ども、子育て中の親、高齢者等様々な方が一緒に食事をする地域食堂を月一回開催しています。

【団体より】

物価高騰の影響で、食材や調理・衛生用品の購入に困っていましたが、助成金を活用することで、定期的に食堂を開催することができました。子ども向け料理教室も兼ねて食堂を開催することで、親子で参加される方も多く、多世代が集って食事を囲み、笑顔溢れる楽しい時間を過ごすことができました。

今後も地域団体や市民の皆様のご支援を得て、ご利用者に喜んでいただける食堂を続けていきたいと思えます。



カフェ ユルク

【活動内容】

多世代交流を目的とした、フリーマーケット、七夕イベント、夏祭りを開催しました。

【団体より】

フリーマーケットは 10 店舗が出店され、初めてカフェユルクを訪れた方もいました。

七夕祭りは、6月中旬から来所された方へ短冊をお渡しし、書いてくださった方へ、七夕の日に行われる抽選会の抽選券を差し上げました。当日は約 40 名の参加者が訪れ、くじを引くワクワク感を共有することができました。

夏祭りでは、100名以上の方が来場され、初めて活動に参加された方も多く、カフェユルクの周知の機会となりました。

今回のイベントでは、中・高・大学生、地域の方等多くの方にお手伝いいただき、イベント開催を通して、新たな地域とのつながりをつくることができました。

季節のイベントを通して、
誰でも気軽に参加ができる
居場所を開催したい



錦町子どもの居場所懇談会にしキッズ

～ハートホーム～

【活動内容】

夏休みには「夏まつり」を、冬休みには冬でもお祭り気分を楽しめる「冬の夏まつり」のイベントを行いました。

【団体より】

錦町に“子どもたちが安心して過ごせる居場所があるといいな”という思いから立ち上がった団体です。「夏まつり」では、星槎国際高校の子ども食堂とコラボして射的やヨーヨー釣り等のほかに、高校生のお兄さんお姉さんとカードゲームなども行いました。「冬の夏まつり」では、サプライズで花火を打ち上げ、冬空に広がる花火を楽しみました。どちらも定員を上回る人数の子どもたちが参加してくれました。

今後も、子どもたちが主体となって楽しめるイベントを企画していきます。

子どもたちが主体と
なって参加できる企画を
開催していきます



WestWave 立川

【活動内容】

西砂町・一番町で子どもの居場所づくりとして英語学習支援と子どもが自立して料理をする料理教室を実施しました。

【団体より】

前回の実施から引き続き参加してくれるリピーターや親同士の口コミでの参加者もあり、続けている成果が出てきたように思います。

長期で運営できる資金や人材の確保等課題については引き続き検討していきたいです。食に対する知識の不足、家庭での個食・孤食による栄養の偏りが見受けられました。規則的な時間に食事がとれていない様子の子どもの見受けられました。今後は健康や身体に対しての正しい情報を伝えていくイベントの実施も検討していきたいと考えています。

長期休み期間中の
子どもの居場所を
つくりたい



国際教育文化交流ビエンベード会

遊びながらスペイン語を
たのしく学び、学習後に
子ども食堂で文化交流
を深めたい

【活動内容】

スペイン語学習と子ども食堂及び海外留学生への食の支援を実施しました。

【団体より】

家庭の経済的な事情により外国語の習得が難しい子ども（3才から12才）を対象に活動をしています。学習後には子ども食堂を行い、交流を深めています。また、海外からの留学生への食の支援も行っています。助成金を活用することにより、幅広くたくさん子どもへ教材や食材などの支援が可能となりました。

子どものためのスペイン語

会員募集中!

詳細はホームページをご覧ください。お問い合わせは080-5412-7142までお願いします。

参加費無料

毎週金曜日

午後6時～

子ども食堂もあります。

(団体名)
国際教育文化交流ビエンベード会
(団体登録)
立川市社会教育関係団体 登録番号 第976号
立川市社会福祉協議会 登録番号 第163号
(活動場所)
幸学習館 (要電話予約) 080-5412-7142
(お問い合わせ)
E-Mail: silverlima36@yahoo.co.jp

無料 対象:3才～12才
おいか割 イベント
日時:2023.08.11 PM 2:00～4:00
場所:幸学習館 実習室
主宰:ビエンベード会
申し込み: silverlima36@yahoo.co.jp石原まで

本年もありがとうございました。

子ども食堂
クリスマスプレゼント

キラリっ子ファミリーカフェ

【活動内容】

学校に行けない、または行きづらい子どもとその保護者を対象にワークショップやレクリエーション、ランチ会を実施しました。

【団体より】

4回にわたり実施し、計50名の方が参加されました。参加した方からは、「子どもがみんなに褒められて嬉しそうだった」「親同士の交流ができるのが良かった」などの感想があり、今後も継続して活動をしたいと思っています。

スタッフがピアサポーターとして参加していますが今後はスキルアップが必要だと感じています。来年度以降はサポーター養成講座を実施する予定です。

孤立している不登校家庭にどう働きかけていけば良いか。立川市内の居場所活動を実施している団体を知らない方も多いと感じます。情報を伝える案内所の役割も担っていきたいです。

不登校の子どもや
保護者のピアサポートで
居場所をつくりたい



いちばん子ども食堂実行委員会

【活動内容】

3年半ぶりに食堂形式で昼食支援イベントを実施しました。

【団体より】

参加した方の中には普段の事業でつながっていない家庭もあり、毎月開催しているフードパントリーへの参加につながりました。

参加者は共働き・ひとり親家庭の割合が高く、家族での時間が確保しにくいという課題が伺えます。一食でもお弁当を提供することによって、家事にかかる時間を親子の交流に充てて欲しいと願っています。

今後はこども食堂の開催と並行して食材の配布も続けていく必要があると感じています。

食支援を通じ、
子どもの居場所を
つくっていききたい



砂川平和ひろばふらっと実行委員会

【活動内容】

ふらっと夏祭り、2023年度卒業・修了思い出作り体験学習を開催しました。

【団体より】

夏祭りには、普段子ども食堂や学習支援に来ている子どもたちやその保護者、地域の方々が参加されました。交流を深める機会となり、大学生が企画・運営したゲームや景品に子どもから大人まで喜んでいる様子が伺えました。

体験学習では、不登校等によりひきこもりがちだった子どもが、卒業・修了を迎えたことから、品川・アクアパークへ体験学習に行きました。日常から離れた経験は、子どもたちが成長する機会になったと感じています。

不登校等による

ひきこもりがちなお子様へ、

社会体験の機会を提供したい



こんなスペース “あったか〜い♪”

食事が十分にとれない子や
何らかの問題を抱えている
子に、食と学習支援を提供
したい

【活動内容】

学校の長期休暇中に、学習支援、食堂(カレー、スイカ、シューマイ等)、プチ縁日(お菓子釣りや的当て等)を実施しました。

【団体より】

今年度は、東栄会の公会堂を借りて実施しました。宅配も含めて40食のカレーを配布することができました。会場参加の子どもたちは大はしゃぎでした。学校を卒業した子どもたちにも食品を届けることで、世帯とつながり、見守りができる大切な活動になっています。



二期会英語の歌研究会

【活動内容】

「子どものためのコンサート×ぼんやりおのっちの大冒険」の実施と子ども食堂運営団体への寄附を募るための子ども食堂支援コンサートを実施しました。

【団体より】

「子どものためのコンサート×ぼんやりおのっちの大冒険」では、30名弱の子ども連れ家族や地域の方々にお越しいただき、生の歌声と演劇のコラボを届けることができました。

子ども食堂支援コンサートでは、子ども食堂の実情を紹介しつつ寄附を募りました。当日は71名の方が来場し、当日集まった寄附金は、全額をたちかわ食堂連絡会に寄附しました。子ども食堂に対する理解がもっと広がる様に、今後も継続して実施していきたいです。

音楽を楽しく届け、
芸術に触れ合う機会を
提供したい



UDA スペース

【活動内容】

不登校の子どもたちの居場所、親御さんの悩みなどを持ち寄れる居場所づくり。

【団体より】

助成金を活用し、不登校経験者から支援者になられた方を講師に招き「不登校についての講座」を開催しました。当日は、16名の参加があり、当事者の保護者の方もお越しになりました。

今後は、スクールソーシャルワーカーとの連携を密に行い、不登校の子どもたちを把握するとともに地域の方々に居場所を周知していきたいです。

不登校の子どもや
不登校の子どもが
いる親の居場所を
つくりたい



特定非営利活動法人ゆとりある

【活動内容】

不登校の子どもたちの居場所「いまごち」を運営しています。子どもたちの「やってみよう」を大切に、遊びを中心とした活動の中から自然と学ぶことのできる環境をみんなで作り、毎週月曜日と水曜日に開設しています。

【団体より】

助成金を活用して、季節のイベントを開催しました。月1度のペースで集まることのできる若者へ向けた居場所の確保となりました。子どもたちは、年齢を重ねるごとに少しずつ遠ざかっていく傾向があります。「年中行事」を取り入れたことで参加者がより楽しむことができたと感じています。

～ありのままを
あたりまえに～
「今、心地いい場所」



たこやきぱらだいす

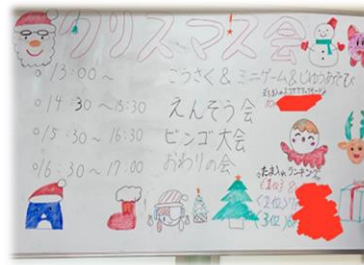
【活動内容】

大学生ボランティアによる、地域に住む子どもたちを対象とした居場所づくり。

【団体より】

助成金を活用し、クリスマスにちなんだ工作やミニゲーム、演奏会を企画し、子どもたちが遊びながら季節を感じることができる会を開催しました。学生ボランティアが子どもたちのやりたいことに寄り添うことで、子どもたちが安心して楽しく遊ぶことができました。当団体の活動に参加したことをきっかけに、子どもたちの他の地域での活動参加に繋がりました。

不登校の子どもや
長期休みに見守り
が必要な子どもを
支援したい



至誠サイエンスクラブ

【活動内容】

工作教室「縄文のアクセサリー作り&ランチ会」を開催しました。

【団体より】

石を削って勾玉を作り、世界に一つだけのネックレスを作成し、昼食はサイエンスクラブ伝統のスモークチキンを作りました。普段では体験することのない、チキンをスモークする様子に子どもたちは興味深々でした。よい体験の機会を提供することができました。

工作教室を通して

子どもたちの「やってみたい」

気持ちを後押ししています



子どものたまり場すこやかひろば

【活動内容】

子どもと一緒にケーキ作りのイベントを実施しました。

【団体より】

毎月1回、羽衣町にある羽衣中央会館で子ども食堂を開催しています。子どもたちが一緒に食事をする場を提供し、食事ができるまでの時間を使って学習支援や交流をしています。食事を提供する場所づくりを通して地域の大人同士のつながりも作っていきます。

子どもに関わる
地域の団体・個人との
連携を図ります



食べて元気いっぱいプロジェクト だれでも食堂

【活動内容】

毎月第3日曜日に、スマイルキッチン（地域福祉アンテナショップ）で食堂を開催しています。

【団体より】

定期開催で、第3日曜日が定着し来場者も増えてきました。今では開始前から並ばれ、開始30分で予定数30食を超え、何人かお断りしなければならない状況にもなりました。これまでは食器を洗いながら使い回して、食器が戻らず食事の提供が滞ってしまうことがありました。しかし、今回、助成金を活用し、食器を揃えることができました。食事の提供がスムーズに行えるようになって、とても嬉しいです。

多世代が交流でき、
定期的に来ることが
できる場所



西砂だれでもしよくどう

【活動内容】

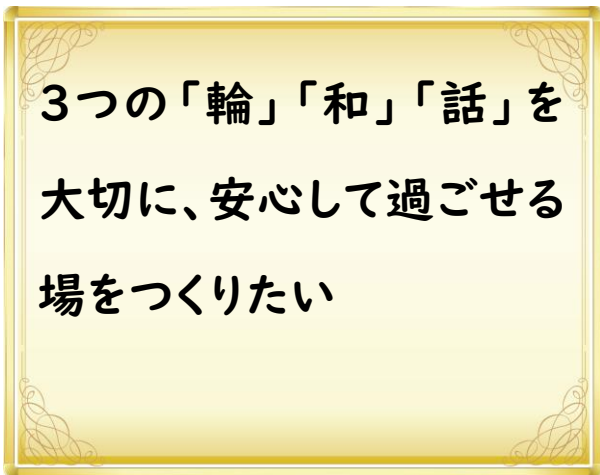
年齢に関係なく多世代で、誰でも参加でき、楽しく、和やかに会食し安心して過ごせる場を目指しています。

【団体より】

70代の代表の思いで始まり、知人や関係者に相談しながら準備を進め開催できました。

80代の方が「あ-目にしみる」と言いながら玉ねぎを切ってくれたり、お母さんと小学生の娘さんは、エプロンと三角頭巾を持参して手伝ってくれました。

会食には、友達同士、親子連れ、高齢者、総勢 40 名の方々にご参加いただき賑やかに終了することができました。



おわりに

2023年5月1日から、これまでの「地域支えあい寄付金」を引き継ぐかたちで、「子ども・多世代エール寄附金」を創設し、生活困窮者等への支援活動、地域福祉アンテナショップの設置や運営、子ども・若者等、立川の未来を担う次世代を応援する為の活動への助成事業を行いました。

2023年度は、延べ23のグループ・団体が助成金を活用し、子ども食堂や地域での居場所づくりなどの活動を行うことができました。

この場を持ちまして、改めて感謝申し上げます。

2024年度も引き続き、「子ども・多世代エール寄附金」活動助成事業に取り組んで参ります。

今後ともご支援・ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。



編集・発行

社会福祉法人立川市社会福祉協議会

〒190-0013

東京都立川市富士見町 2-36-47 立川市総合福祉センター

電話番号:042-529-8300

メールアドレス:info@tachikawa-shakyo.jp

2024年5月発行

ホームページ



YouTube



地域福祉コーディネーター
Facebook



X(旧:Twitter)



Facebook



Instagram

